

令和5年2月14日  
島根県地域包括ケアシステム関係機関連絡会議

令和4年度老健事業「地域づくり加速化事業」への参画

# 隠岐広域連合への伴走支援 －介護予防の仕組みづくり－

島根県健康福祉部高齢者福祉課  
地域包括ケア推進室



© Shimane Prefectural Government

## 本日お話しすること

---

1. 支援メンバー

---

2. 支援開始まで

---

3. 支援期間中

---

4. 支援終了

---

5. まとめ

---

# 1

## 支援メンバー

# 外部アドバイザー 2名を中心に支援チームを編成

## 6-1. アドバイザーの選定と得意分野

- エントリーシートの支援ニーズを踏まえ、アドバイザーの得意分野とマッチングを実施
- 地域づくり加速化事業の運営委員会に諮り、選定市町村とアドバイザーを決定

地域等	所属・役職 等	氏名(敬称略)	得意分野											
			介護予防	通いの場	通所C	訪問C	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント	一体的実施	生活支援体制整備	地域づくり	介護保険全般	その他	
近畿	(株)TRAPE 代表取締役兼CEO	鎌田 大啓	○		○	○			○					人材育成
	東近江市健康福祉部 医療政策担当部長 (管理監 兼 新型コロナウイルスワクチン接種推進室長)	夏原 善治 ※								○		○		健康づくり
中国四国	(公財)広島県地域保健医療推進機構 広島県地域包括ケア推進センター 次長 保健師	藤原 薫 ※		○	○		○	○						
	倉敷市社会福祉協議会地域福祉課 主幹 (第1層生活支援コーディネーター)	松岡 武司	○								○			



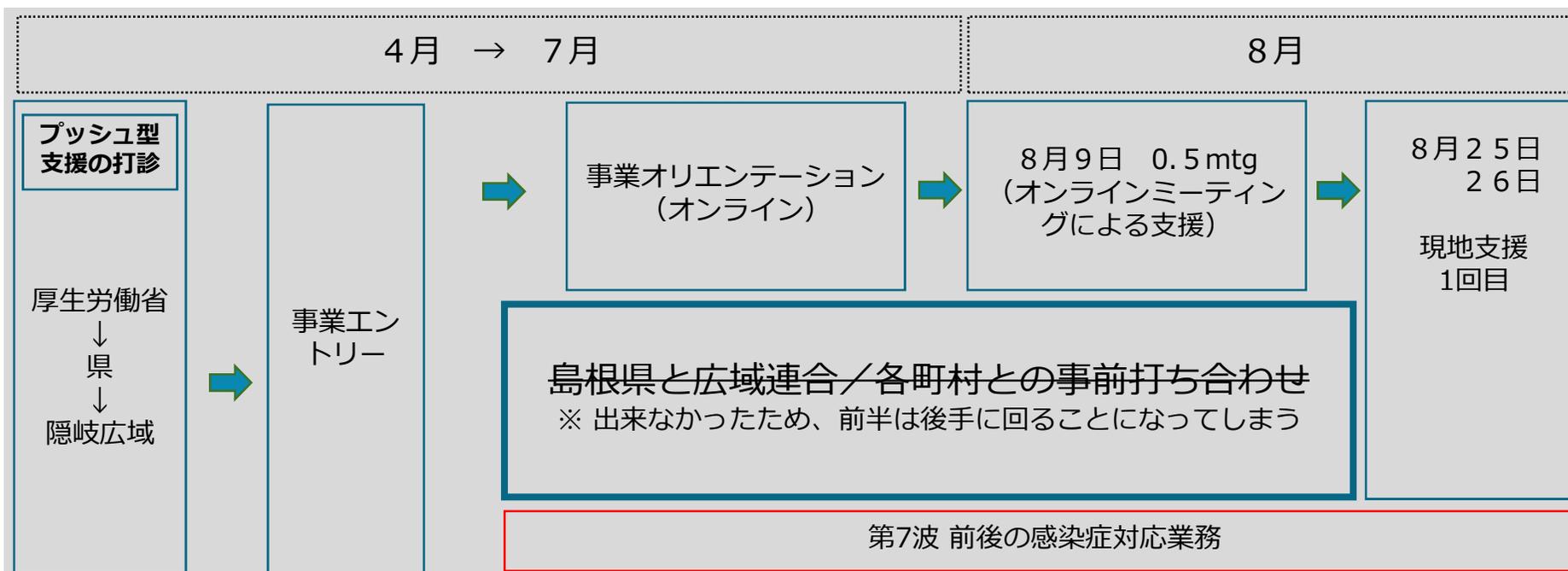
**(株)TRAPE 代表取締役兼CEO 鎌田 大啓 氏**

**公益財団法人広島県地域保健医療推進機構  
広島県地域包括ケア推進センター 次長 藤原 薫 氏**

## 2 支援開始まで

# プッシュ型支援として事業参画へ コロナ対応と並行しつつ、当県の強みを活かした支援体制

### 事業開始から現地支援一回目までの工程



### 島根県の強み

- ・各保健所に地域包括ケア推進スタッフ（ケア室兼務）を配置。
- ・市町村の伴走支援や圏域での仕組みづくりのノウハウ。

### 県組織内キーマンの二人

隠岐保健所 : 川端保健師  
隠岐島前保健所 : 乃木保健師



# 3

## 支援期間中

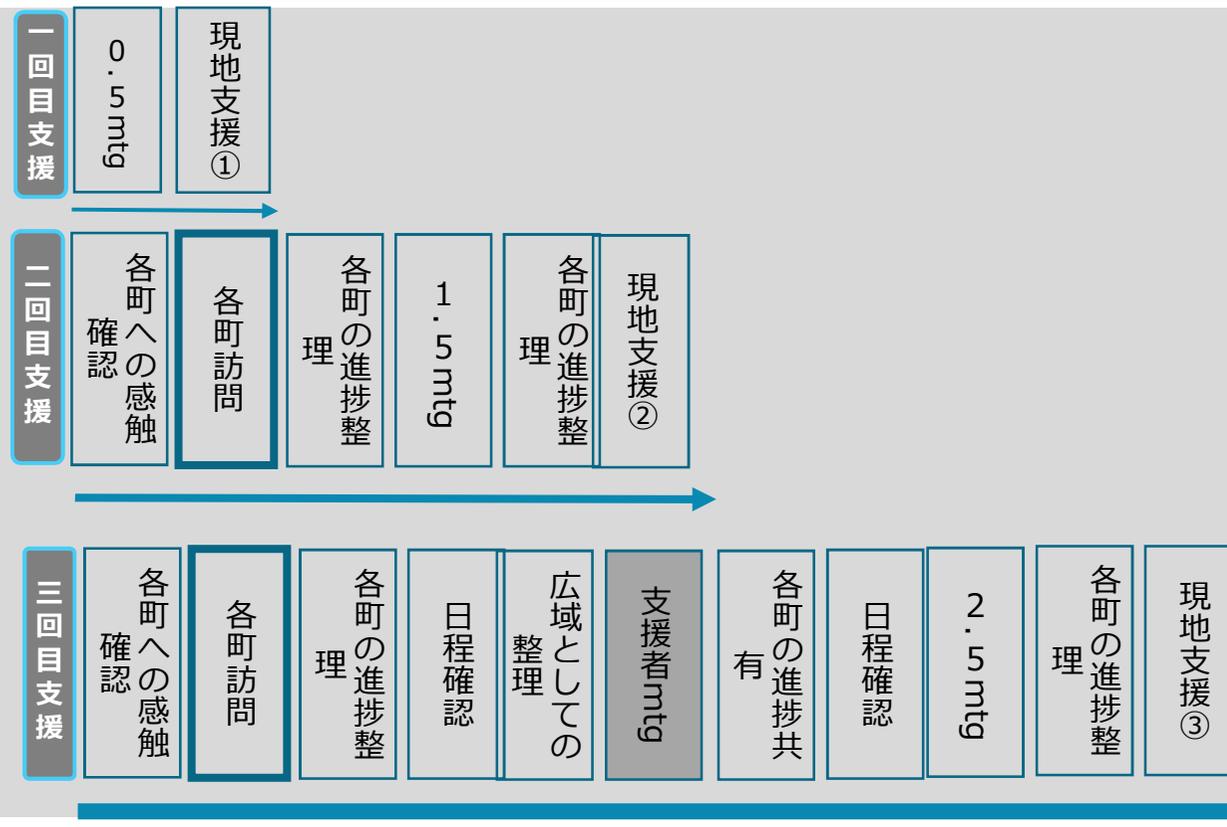
### 1

### 隠岐広域連合

隠岐圏域のデザインと事業の進捗管理を一緒に考えていく

現地支援①～③におけるフロー

ポイント



① 町や広域連合担当者との連絡

**50回程度**

② 各町への個別訪問

**3町 × 2回ずつ**

③ キーマンとの連携



# 3

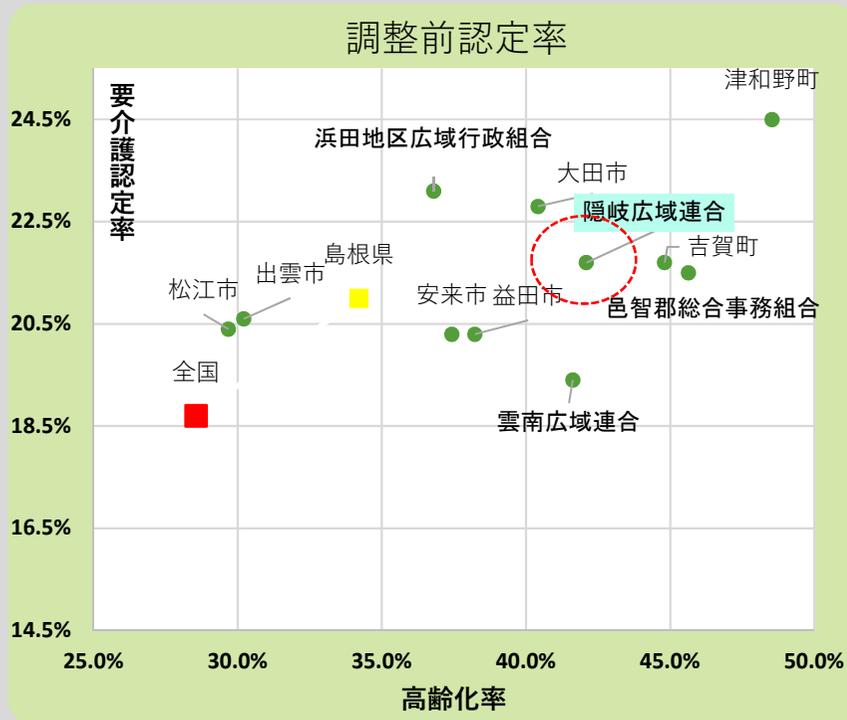
## 支援期間中

### 1

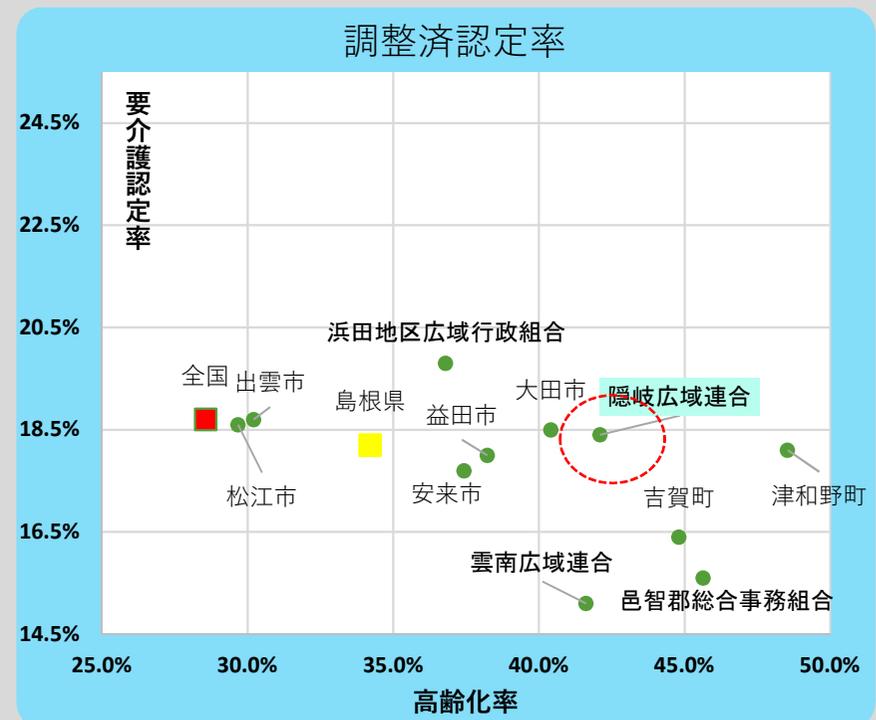
### 隠岐広域連合

## 令和2年度 島根県の要介護認定率と高齢化率

高齢化の影響も一因となり、認定率は高め



調整済認定率は、県平均とさほど変わらず

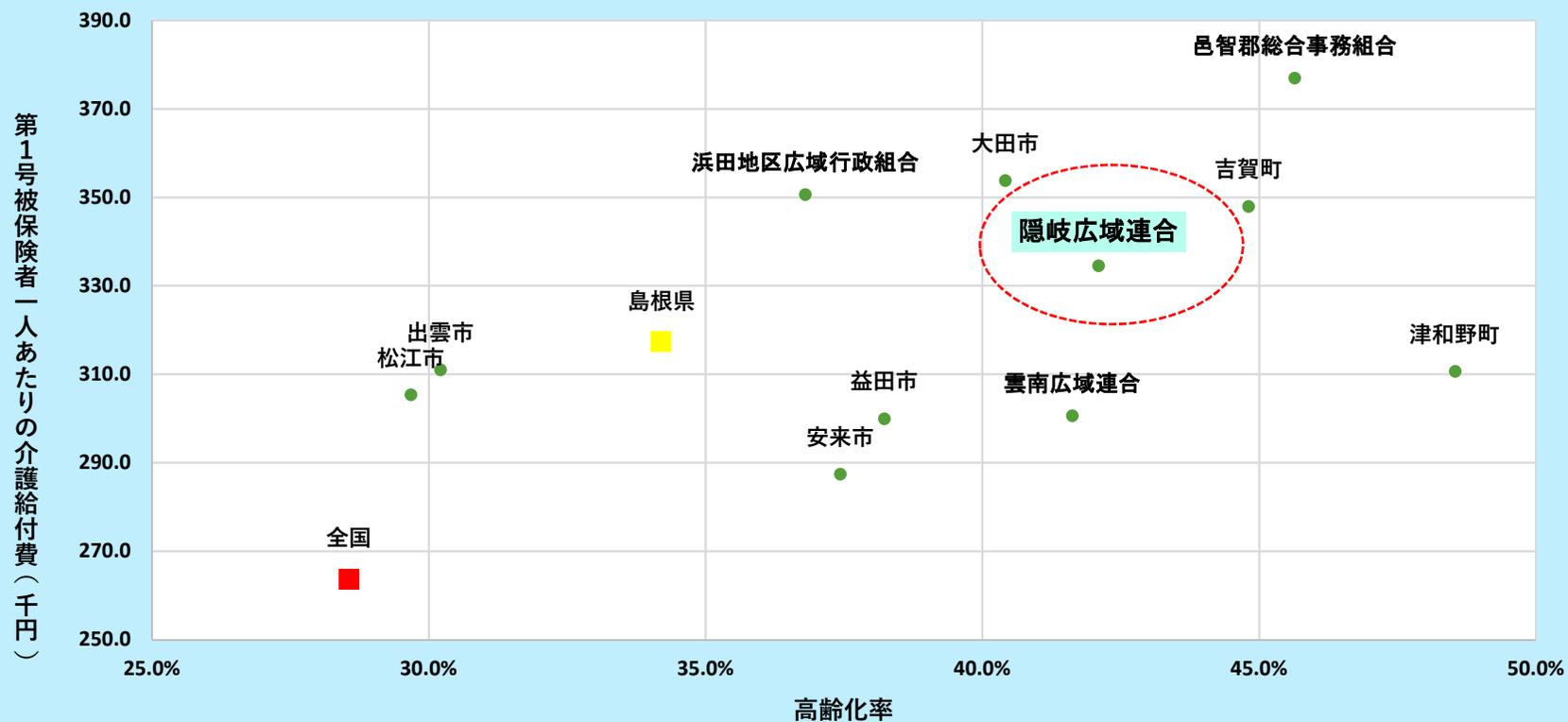


出典：令和2年国勢調査、介護保険事業状況報告(年報)より 当課企画G作成

### 3 支援期間中

#### 1 隠岐広域連合

## 令和2年度 第1号被保険者一人あたりの介護給付費と高齢化率



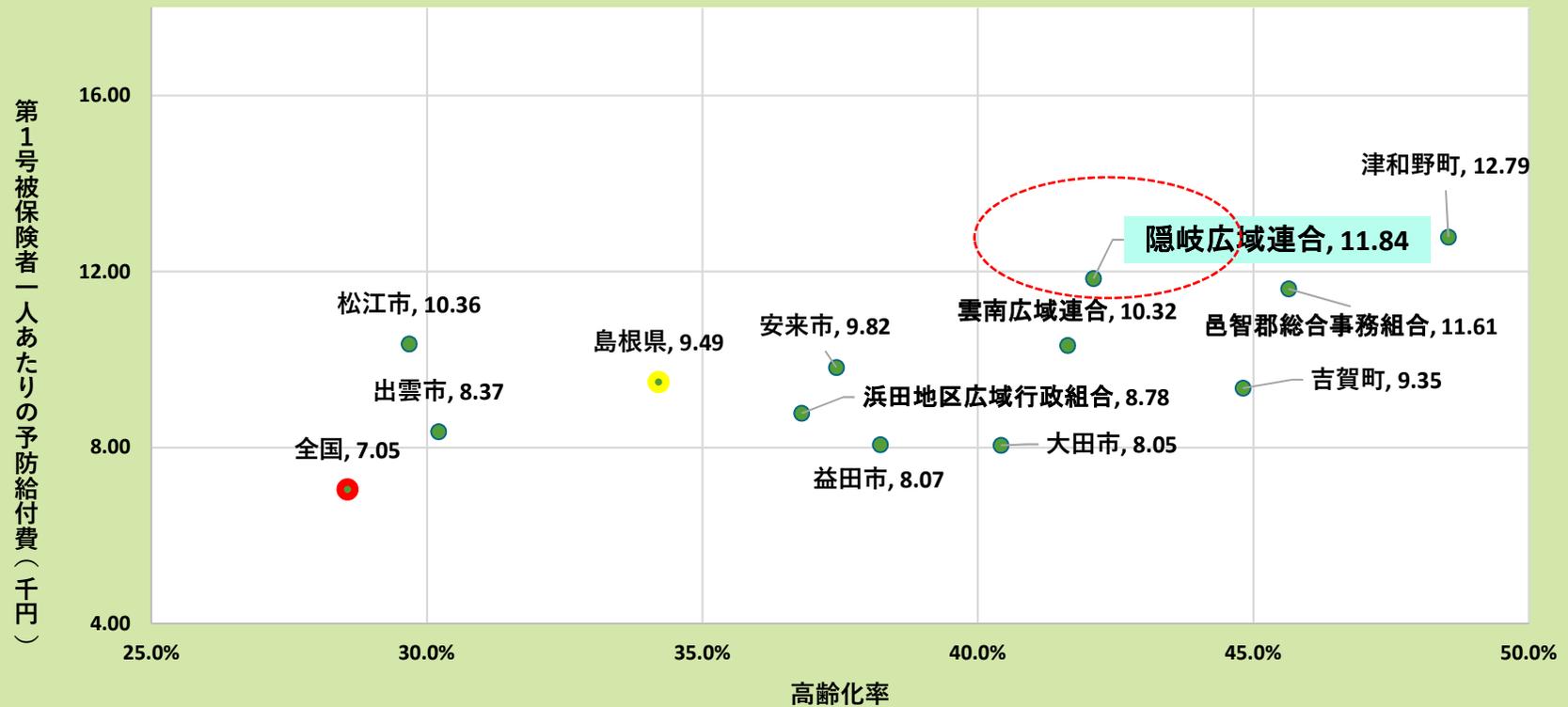
### 3

## 支援期間中

### 1

## 隠岐広域連合

### 令和2年度 第1号被保険者一人あたりの介護予防給付費と高齢化率

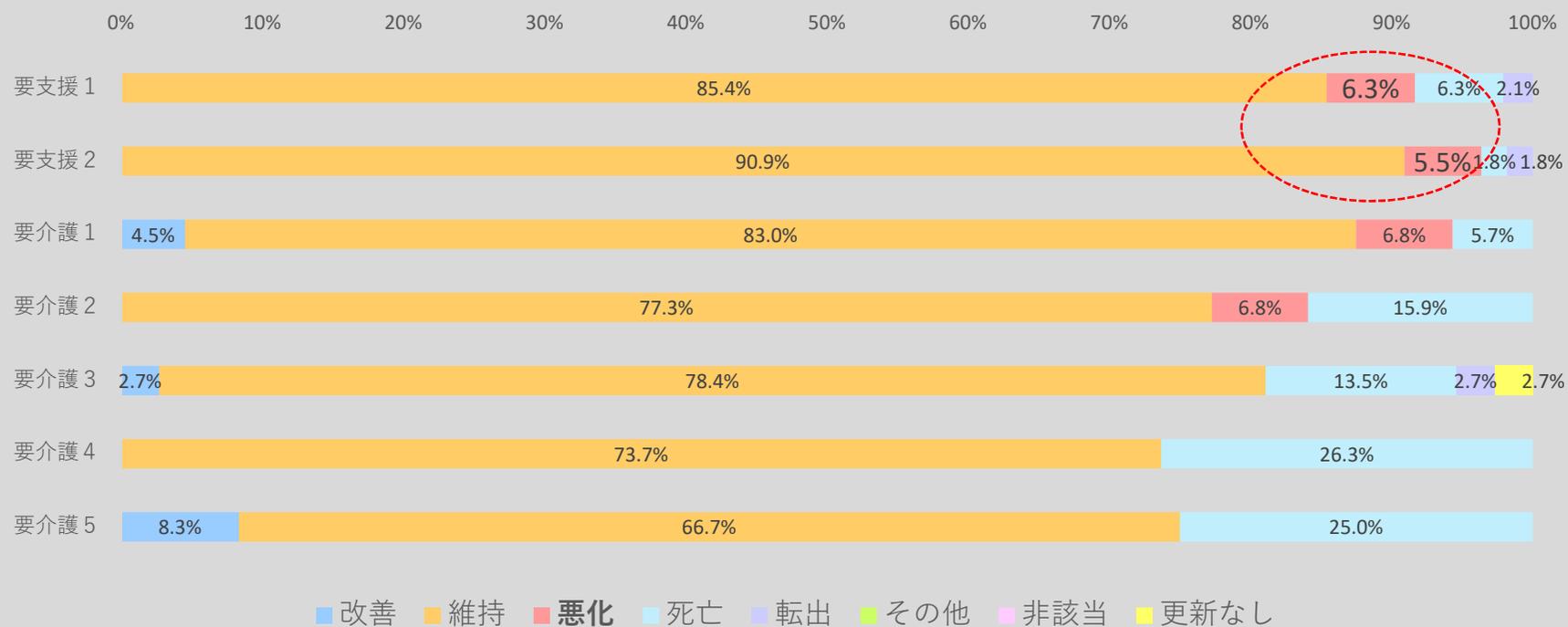


### 3 支援期間中

## 1 隠岐広域連合

### 新規認定者の時系列データ

新規認定者の初年度末の要介護状態（H30新規認定者n=351人）

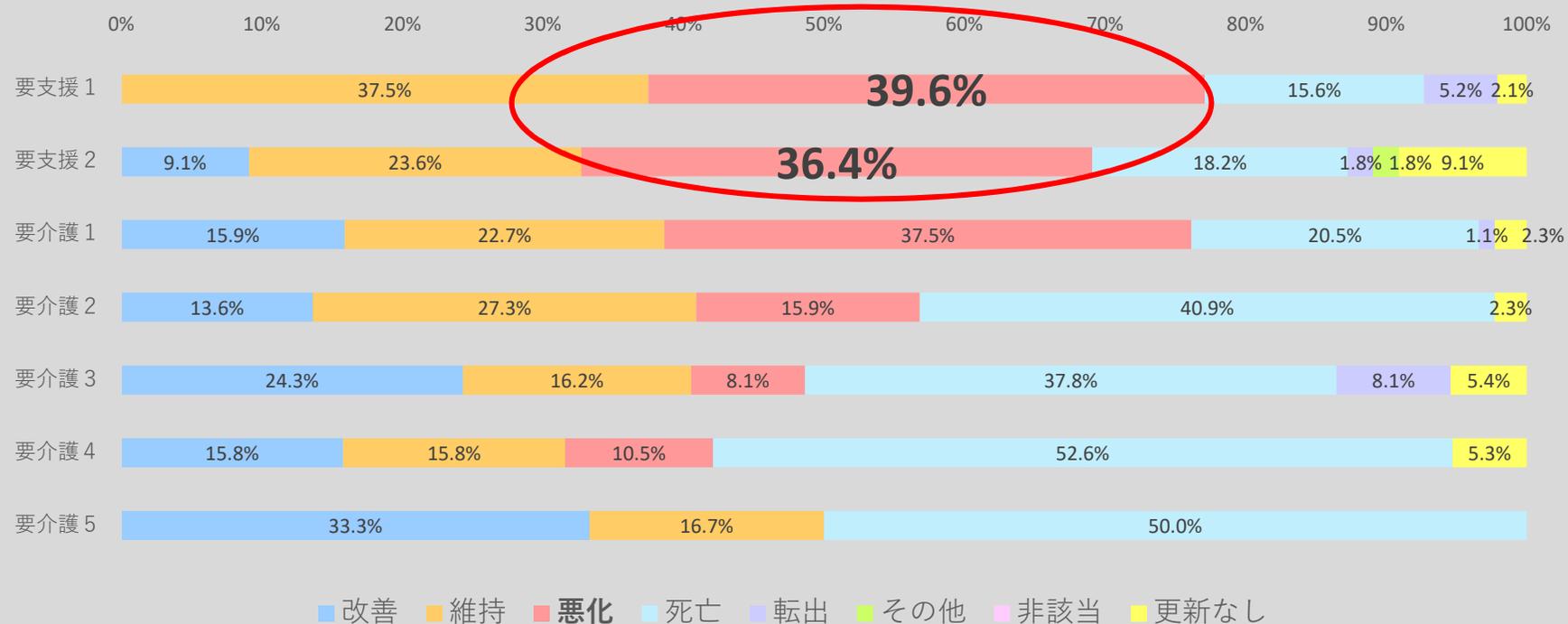


### 3 支援期間中

#### 1 隠岐広域連合

## 新規認定者の時系列データ

新規認定者の2年後の要介護状態（H30新規認定者n=351人）



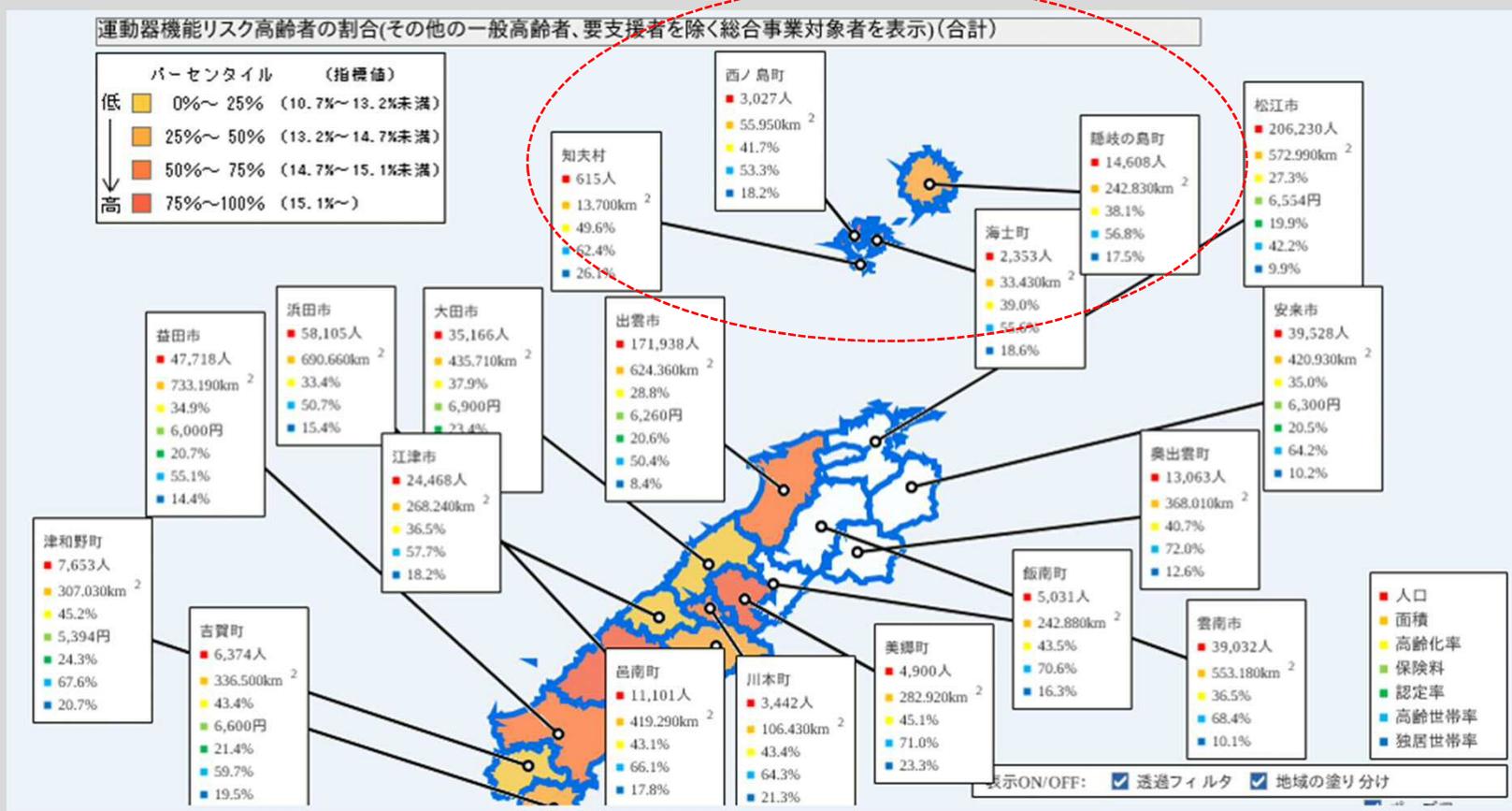
# 3

## 支援期間中

### 1

### 隠岐広域連合

## 運動機能リスク高齢者の割合（日常圏域ニーズ調査より）

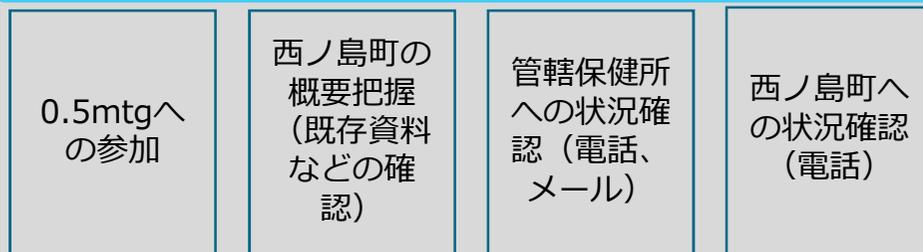


# 3 支援期間中

## 2 西ノ島町（事業開始 → 1回目現地支援）

### 好事例である「まめな体操」がキーワード

#### 県の視点から見た 1回目現地支援までのフロー



現地支援本番



小室保健師（役場）

堀江主任（役場）

#### 議論の方向性

##### 1) 通いの場（まめな体操）

・まめな体操以外にも、すでに住民主体の「多様な場」があることに目を向けていくとよい。

##### 2) 地域ケア会議

・会議の目的を整理し、参加者で共有し直す。

##### 3) フレイル期への専門職介入

・活動期と介護期の間であるフレイル期において、専門職の介入やサービスをどうしていくか。

・フレイル期から元気な頃へ戻ってもらうための「可能性」を見つける。

・介護予防の概念をより具体的に考え、体系的にまとめ、幅広い関係者で共有していく。

#### 8/26（金）1回目支援の様子



濱田 OT(隠岐島前病院)

富谷課長(役場)

中尾 SC(町社協)

野口主任(役場)

### 3 支援期間中

## 2 西ノ島町（1回目現地支援 → 2回目現地支援）

### リハビリテーション職が介入する「短期集中サービス」の検討へ

#### 県の視点から見た 2回目現地支援までのフロー

西ノ島町担当者と1回目支援の感触を共有

西ノ島町に訪問し、方向性の整理を検討

厚生局との情報共有

西ノ島町とのオンライン協議

1.5mtgへの参加



#### 議論の方向性

#### 1) 短期集中サービスの実施に向けた整理

- ・費用対効果が見える化できれば。投資というイメージで。
- ・島前病院リハ職で一日当たり何人対応できるかから逆算方式で。
- ・基本チェックリストの活用など。

#### 2) まめな体操や住民サロンでの予防活動の充実

- ・まめな体操やサロンなどに通えなくなった人のフォロー
- ・まめな体操の評価方法

#### 10/20（木）2回目支援の様子

※ハイライト動画



### 3 支援期間中

## 2 西ノ島町（2回目支援 → 3回目支援）

いよいよラストスパート。

県の視点から見た 3回目現地支援までのフロー



議論の方向性

2 / 15 (水) 三回目支援の様子

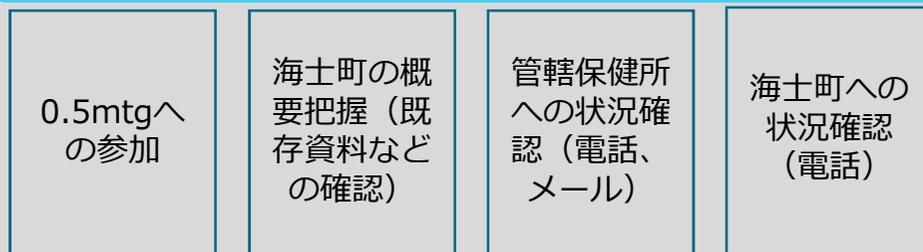
Coming soon

### 3 支援期間中

### 3 海士町（事業開始 → 1回目現地支援）

## デイサービスの利用状況を確認しつつ、フレイルへの対応を模索

#### 県の視点から見た 1回目現地支援までのフロー



#### 議論の方向性

### 1) フレイル/プレフレイル期への専門職の介入

- ・ デイサービスをより必要な人（介護が必要な人）へ届けるためにはどうしたらよいか。
- ・ 再度アクティブな頃を取り戻してもらうために専門職がどう介入していくか。

### 2) 町の福祉全体に関連して

- ・ 住民を中心において、「この人をどうするか」をデザインしていくことが大切。その中で福祉に関わる人材の維持についても関係者で話し合えるとよい。

#### 8/26（金）1回目支援の様子



### 3 支援期間中

### 3 海士町（1回目現地支援 → 2回目現地支援）

## 高齢者と若者、お互いの困りごと解決に向けて

#### 県の視点から見た 2回目現地支援までのフロー

海士町担当  
者と1回目  
支援の感触  
を共有

海士町に訪  
問し、方向  
性の整理を  
検討

厚生局との  
情報共有

海士町担当  
者とメール  
等でやりと  
り

1.5mtgへ  
の参加



#### 議論の方向性

### 1) 高齢者と若い世代とのマッチング

- ・ 半官半X課の根岸保健師を中心に進めていく
- ・ 高齢者の困りごと解決と高齢者が活躍する仕組みづくり
- ・ Iターン者等にヒアリング  
(困っていること、出来ることに分けて)
- ・ SCも関わりながら

### 2) 福祉人材について

- ・ 福祉人材は町全体を巻き込みながら話をする必要がある
- ・ 庁内連携を進めていく必要がある（様々な課がそれぞれに事業展開）

#### 10/20（木）2回目支援の様子

※ハイライト動画

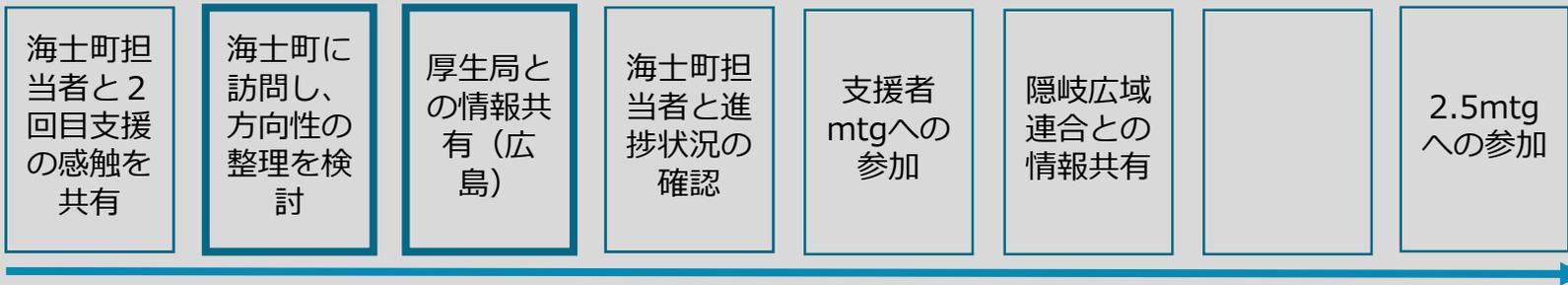


### 3 支援期間中

### 3 海士町（2回目支援 → 3回目支援）

いよいよラストスパート。

県の視点から見た 3回目現地支援までのフロー



議論の方向性

2 / 15（水）三回目支援の様子

Coming soon

### 3 支援期間中

#### 4 隠岐の島町（事業開始 → 1回目現地支援）

既存の仕組みや地域資源を確認しながら、移行期への介入方法を模索

県の視点から見た 1回目現地支援までのフロー

0.5mtgへの参加

隠岐の島町の概要把握  
（既存資料などの確認）

管轄保健所への状況確認（電話、メール）

隠岐の島町への状況確認（電話）



議論の方向性

#### 1) 移行期への介入方法を考えていく

- ・多様な場からデイへ移行する人には何かしらのきっかけがある。なぜ自信がなくなるか？
- ・「もう一度、〇〇したい」を実現するための手段の一つとして、たとえば通所C。
- ・移行期における専門職の活かし方

#### 2) 生活期の多様な場について

- ・可視化できなくとも、多様な場があることを知っておくことが大切。

8/25（木）1回目支援の様子



### 3 支援期間中

## 4 隠岐の島町（1回目現地支援 → 2回目現地支援）

地域資源をつなぎながら、介護予防の全体像を描いていく

県の視点から見た 2回目現地支援までのフロー

隠岐の島町  
担当者と1  
回目支援の  
感触を共有

隠岐の島町  
に訪問し、  
方向性の整  
理を検討

厚生局との  
情報共有

隠岐の島町  
担当者と  
メール等で  
やりとり

1.5mtgへ  
の参加



現地支援本番

議論の方向性

10/21（金）2回目支援の様子

※ハイライト動画

#### 1) 具体的な予防サービスの全体像を描く

- ・元の生活にも戻るための目線合わせ  
(何をしたいか/していたか 知るプロセス、状態像、疾患を押さえる)
- ・例えば、短期集中サービス対象者を体系的に整理。
- ・プール活用や訪問など、具体的なプロセスを想定して検討。

#### 2) 地域の人材や資源の活用

- ・リハ職介入のタイミングを明確にする。
- ・在宅保健師との連携。
- ・スポーツクラブなど既存施設との連携



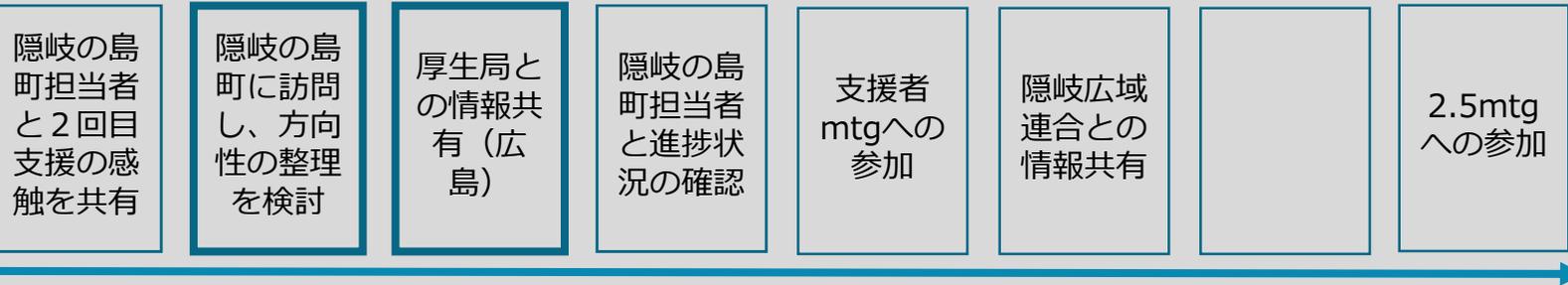
スポーツクラブのような民間施設の協力は、大きな後押しとなりそうです。

### 3 支援期間中

#### 4 隠岐の島町（2回目支援 → 3回目支援）

いよいよラストスパート。

県の視点から見た 3回目現地支援までのフロー



議論の方向性

2 / 15（水）三回目支援の様子

Coming soon

## 5 まとめ

### 次年度へのステップ

#### 第9期介護保険事業計画への落とし込みを見据えて

《隠岐圏域のデザインを描く》

Step1

地域づくり加速化事業

- ・各町での議論を促す
- ・議論の様子を共有
- ・隠岐広域連合への伴走

Step2

デザインした事業の実行

- ・加速化事業でデザインした事業の進捗を確認

Step3

事業の評価

- ・事業効果の検証／継続実施へつなげられるか？

高齢者の  
**well-being**へ



地域包括ケア推進室＋隠岐保健所地域包括ケア推進スタッフによる継続的な関わりで、保険者や町の良きパートナーに。

## しまねっこチャンネル

支援の様子は島根県公式YouTubeで視聴できます  
⇒ 「地域づくり加速化事業」で検索



※ 他にも、認知症担当者会議など参考になる動画がたくさんありますので、ぜひご覧ください